

グラフィックサービス

JaGra

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会



● 巻頭企画

page2020見てある記

テーマは「デジタル×紙×マーケティング for Business」

● 連載・シリーズ

補助金のひろば⑤

～新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ～

温孔知新②⑤【最終回】

● NEWSとお知らせ

PrintNext2020秋田で開催
優良従業員表彰の申請を受付中

GS
No.820
2020
03

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中。
紙媒体より1週間早い毎月中旬に
ご覧いただけます。バックナン
バー閲覧もここから!



<https://www.jagra.or.jp/>

なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の中村耀です。

新型コロナウイルスの危機、情報が飛び交う中、皆様いかがお過ごしでしょうか?

先日、沖専務とリョービMHIグラフィックテクノロジー様の新春ショーに行って参りました。新型コロナウイルスに配慮した様々な対策(マスク支給、アルコール消毒等)が取られており、安心して見学できましたが、とてもコンパクトに提案・展示がまとめられ、来場者も多かったようです。

今回の危機は「未知の領域」ともいうべきもので、ウイルス拡散防止のため、大相撲は無観客試合、高校野球は中止となるなど、色々なところで決断が迫られています。我々印刷業界でも、仕事に大きな影響が出てきています。

ジャグラでは週に一度、内閣府・経済産業省関係のニュース等をまとめて皆様にメールで送っておりますので是非ご確認いただき、この苦境を乗り越えていきましょう。

CONTENTS

● 巻頭言

01 第62回ジャグラ文化典 高知大会
時代を負う若者の知恵と発想を
——ジャグラ副会長・高知大会運営委員長/ (株)伸光堂 中越 忠男

● 巻頭企画

02 page2020見てある記
テーマは「デジタル×紙×マーケティング for Business」
——(株)バリューマシーンインターナショナル 宮本 泰夫

● 連載・シリーズ

12 補助金のひろば⑤
新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ
※新型コロナウイルスへの対策・対応について

15 文化典高知大会 実行委員会より②
——副実行委員長/ (株)リーブル 坂本圭一郎

26 温孔知新 ②⑤ 最終回 謄写技術資料館訪問と当館について
——山形謄写印刷資料館 館長/ 中央印刷(株) 後藤 卓也

● NEWSとお知らせ

16 優良従業員表彰の申請を受付中です/4.23必着

18 理事会&委員会通信
ジャグラコンテスト部会、教育・技術委員会 議事録より

23 業界の動き
近畿地協 幹事会・懇親会を開催
宮城県支部 SDGsセミナーを開催

PrintNext2020秋田で開催
テーマは「Find the Future ~人間力で世界価値を創造しよう!~」

29 ジャグラBB HOTNEWS

09 コラム
19 会員名簿発行延期のご案内
27 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内
19 会員の異動(新入会員のご案内)
27 温孔知新トピックス(書籍案内)
28 事務局日誌と今後のスケジュール

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

第62回ジャグラ文化典 高知大会 時代を負う若者の知恵と発想を

巻頭

ジャグラ副会長
高知大会運営委員長/ (株)伸光堂 中越 忠男



6月4日~6日、第55回ジャグラ定時総会・第62回ジャグラ文化典 式典・懇親会が、高知県支部担当で開催されます。人口70万人を切る高知県で全国大会が出来るはずはないとの意見もありました。四国地協が一つになれていなかった苦難の時代もありました。その間に中村会長を始め、多くの方々のご協力をいただきました。

現在、地協総動員で大会の準備を進めております。これから残り少ない時間で最後の仕上げに入ります。実行委員長の西村啓君を始め、各委員が「激変する時代は自ら実行することにより成功できる」という言葉を信じて、全国を走り回り、飛び回ってくれております。印刷は文化です。時代をそれぞれ乗り越えてこられた先輩の方々には、この若者たちの頑張りをご理解いただければ幸いです。

苦節20年、今回、全国大会にこぎつけるため、会員増強に力を入れ、ジャグラの良さを語り、仲間を増やし、行政にも印刷業の現状をアピールし、活動を進めました。四国は一つになって活動していた時代もあり、一つになれない時代もありました。しかし、ジャグラをこよなく愛した方々の努力により、現在は一丸となり四国地協として活動出来ております。現在の活動にご協力とご理解をいただきました方々に心からお礼を申し上げます。

さて、今、世界を揺るがす新型肺炎が話題になっておりますが、実行委員会では「オリンピックは中止になっても高知大会は開催できる」と信じ、準備を着々と進めております。遠方ではありますが、美しい自然、全国一おいしいと言われる料理のおもてなしでお待ちしております。

「はりまや橋」は日本では有名ながっかり名所、太平洋眼下に「世界を見んといかんぜよ」の坂本龍馬銅像や月の名所は「桂浜」。日本南海道随一の名城と言われる高知城は山内一豊が築城し、400年の歴史を誇ります。大会翌日には、江戸時代から300年続いており、全国的にも珍しい街路市(日曜市)が開催されます。野菜をはじめとする農産物・植木・諸動物・金物・農具・骨とう品・着物等々、400もの露店を全長2km近くにわたってお楽しみいただけます。

旅行は1日コースと2日コースをご用意しましたが、いずれも手つかずの自然が残る高知の風景をお楽しみいただく旅程で、皆様の思い出に残る、満足いただける内容だと思います。

この自然に囲まれた中での楽しい大会になるよう、私たち実行委員の香川・徳島・愛媛・高知の四国地協が団結して、仲間の増強・発展にお役に立つことができるよう頑張ります。

心から皆様のお越しをお待ちしております。

高知で世代交代!!

ジャグラを
せんたくするぜよ!

ジャグラ 第55回総会 高知大会
第62回文化典

日時 令和2年 6月6日(土)
会場 ホテル三翠園

五日 記念ゴルフ大会
おきゃく(前夜祭)
その他

六日 定時総会・文化典
大おきゃく(懇親会)
その他

七日 土佐満喫旅行
(日帰り・一泊コース)

主催:一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 主管:一般社団法人日本グラフィックサービス工業会四国地方協議会 主催:一般社団法人日本グラフィックサービス工業会高知県支部



ベースプレゼンテーションもビジネス提案にシフトが進む

page2020 見てある記

(株)バリューマシンインターナショナル
取締役副社長 宮本 泰夫

テーマは「デジタル×紙×マーケティング for Business」

印刷関連業の将来と ビジネスの方向性を示す展示が増加

2月5～7日の3日間、東京池袋のサンシャインシティコンベンションセンターTOKYOにおいて、JAGAT主催の印刷展 page2020* が開催された。テーマは「デジタル×紙×マーケティング for Business」で、ここ2年で認知を進めてきた「デジタル×紙×マーケティング」路線を、より具体的に実践活動へ落とし込むことを目指したものである。印刷業が変わらなくては生き残れないという認識が共通となった今、具体的にどのようなアクションを起こすべきかが、各種展示やイベントで幅広く示された。

会場においては、ハード&ソフトのシステム提案から、ビジネス提案へのシフトが鮮明となったことが印象的であった。「どういったシステムを利用するか」を訴求するのではなく、顧客への提案として「何を作るべきか」、更には効率化・自動化を踏まえて「どのように作るべきか」を中心とした出展が数多く見られるようになった。

IoTやAI、5Gネットワークなど外部環境の変化ばかりでなく、働き方改革やSDGsへの対応など企業としての多様な取り組みが求められる中、印刷関連業が今後どのようなビジネスを描けるのか、各社出展の中に見ることができた。

3つのホールを利用して開催された会場では、一般展示以外にも「印刷パートナーゾーン」が設けられ、様々な工夫が施された商材や特殊加工などが展示された。コモディティ化が進む印刷ビジネスにおいて、自社にはない、もしくは苦手としているサービスを持つ他社をパートナーとして、新たなビジネスやサービスを展開することが、今後のビジネス拡大に大きく寄与すると期待され、来場者の注目を集めていた。

また、デジタルプレス分野において京セラドキュメントソリューションズ（以下 京セラ）と理想科学工業が新たなプレイヤーとして参入したこと、長らく page 展から離れていた小森コーポレーションやハイデルベルグなど印刷機メーカーが再参入したことも大きな注目を集めた。総じて、出展社・来場者ともに現状の課題を解決する様々なヒントを共有する有意義な展示会となったように見える。

外部環境の変化に対応した ビジネスを提案する出展が増加

印刷産業を取り巻くモノづくりの環境は大きく変わろうとしている。IoTやAI、クラウド化などの進展による、自動化や効率化などを目指した製造面での新たな取り組みは、そのインフラ整備が進むことで新たなステージに移行



Tooによる校正業務のAI化提案



方正の各種AIソリューション



福博印刷のAIソリューション

デュプロが実演した
ロボットアームシステムキャノンブースに出展された
ホリゾンのロボットアームアルテックの自立走行型ロボットの
展示パネル

しつつある。また、働き方改革やSDGs対応といった、社会的責任について、取り組むべき課題も数多く挙げられる。一方、ビジネス面でのアプローチでは、本年のテーマでもあるマーケティングへの取り組みが、今後欠かせないものとなることは明らかであり、印刷業としての考え方を変えていくことが求められている。

これらの多様な課題に対するアプローチは、単なるデジタル印刷といった印刷技術だけで解決できるものではなく、印刷工程や営業施策など幅広い分野での取り組みが求められることとなり、本展示会でもこれまで以上に数多くの出展で提案が行われた。

AI・ロボットなどを利用した 新たな機能提案や工程の効率化

現在、AIは様々な業務分野での利用が期待されている。印刷関連ではプリプレス処理における画像の高解像度化や各種画像解析をはじめ、校閲処理や面付処理などの自動化などで実用ステージを迎えていると言われる。

Tooは校正業務をAIを利用して自動化するソフトウェアの提案を、方正はWeb上に流通するコンテンツの不正利用などを自動検出するツールが出展された。福博印刷は自動で顔を解析するツールを利用して、フォトブックを効率的に作成するツールとビジネスが提案された。

展示会場ではロボットも数多く見かけるようになった。デュプロはカットされた名刺を帯掛け機に運ぶ作業を、キャノンはホリゾンの無線綴じ機から三方断裁機への移送を、それぞれロボットアームが行うデモンストレーションが行われた。アルテックは、自立走行型ロボットの展示と各種搬送作業の自動化などについて提案が行われた。

自動化の一つのキーになる 検査装置の出展も増加

製造工程の自動化において重要な役割を占めると考えられるのが検査装置である。工程の監視、半製品や完成品の検査など様々な分野において、これまで人力で行われてきた作業を代行し、自動化・効率化を支える技術となることが期待されている。特に印刷物の小ロット化、多品種化やマーケティングデータからのバリエーション印刷などが拡大することによる製品検査の工数は飛躍的に増大することが予測されるため、取り組むべき一つの技術であると言える。

ウエブテックは新製品となる高精度オフライン品質検査装置 GTS330 を展示、マイクロテクニカは可変絵柄までを検査可能なオフライン検査装置を中核として出展、ダックエンジニアリングは刷り出し・印刷時・印刷後と検査工程を組み込むことで工程のスマート化を実現する切り口で多様な製品を出展、ナビタスビジョンもカット紙向け、ロール紙向けなど様々な印刷体裁に対応した装置を出展した。

また、GTBでは汎用高速スキャナを利用することで低価格・オフライン型の検査装置の展示・実演を行い、大塚商会はバリエーション印刷を含めたジクスの全面検査装置をデジタル印刷システムとともに出展した。デジタル印刷システムへのインラインシステムとして、マイクロテクニカが手掛け、プロスパーククリエイティブは画像欠陥からカラーマッチングまでを含めたシステムを実演した。

page2020



ウェブテックが出展した
オフライン検査装置 GTS330



マイクロテクニカの
可変絵柄まで検査可能なシステム



ダックエンジニアリングは
検査でスマートファクトリーを実現



ナビタスビジョンはカット紙から
ロール紙まで対応する装置を実演



コニカミノルタの
AccurioPress C6100 と IC-501



リコージャパンは RICOH Pro C9210 の
前面パネルを開放してデモを実施



キヤノン imagePress C10000VP には
除電モジュールが搭載される



GTB の高速スキャナを利用した
オフライン検査装置



大塚商会ではジクスの全面検査装置を展示



インライン搭載された
マイクロテクニカの検査装置



プロパーククリエイティブは画像欠陥
からカラーマッチングまでをサポート



RICOH Pro C7210 と
ホリゾン SmartSlitter の接続モデル



キヤノン imagePRESS に
接続された封筒搬送ユニット



キヤノン imagePRESS C910 は
長尺印刷に対応



FFGS は働き方改革による
営業活動の時間創出を提案



ビジュアルプロセッシングジャパンの
IT ツール利用提案



コニカミノルタの
マーケティングオートメーション利用提案



FFGS が提案する
印刷を利用した課題解決フロー



FFGS が実機展示した
DocuColor 7171P (Model-ST)



注目を集める竹尾の
デジタル印刷システム向け印刷媒体



長井紙業は和紙の特徴ある質感をアピール



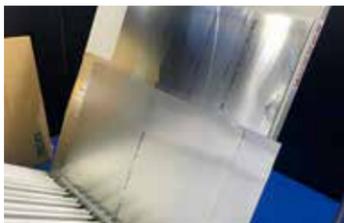
デュポンは
多様なデジタル印刷機向け印刷媒体を展示



AGFA の
プリプレスファクトリーオートメーション



FFGS による
CTP 自動化ソリューションの全体像



SCREEN GP ジャパンの
プレートへの Job 情報印字システム



クラウド化を図ったコダックの
Prinerigy ワークフローシステム



京セラの TASKalfa Pro 15000c



理想科学工業の VALEZUS T2100



コニカミノルタのお客様事例サンプル



リコージャパンは
多様なメディアと色材のサンプルを展示

オフセット印刷を含めた 工程全体の自動化への提案

複雑な工程とシステムを利用する印刷工程の効率化では、プリプレスから製造まで様々な部分で提案が行われた。

AGFA や FFGS からは、現像レスあるいは無処理プレートを利用し、出力されたプレートを印刷機まで自動搬送するシステムを組み合わせることで工程全体の効率化が提案された。無処理プレートを利用した場合、時間経過とともに目視確認ができなくなることにに対しては SCREEN GP ジャパンから Job 情報印字システムが出展された。

プリプレス分野ではコダックの Prinerigy ワークフローがクラウド化システムに移行、プレス分野では、小森コーポレーション、ハイデルベルグからオフセット印刷機を含めた自動コントロールシステムのソフトウェア展示やプレゼンテーションが行われ、製造システムの自動化、効率化のあり方を提案した。



小森コーポレーションの KP-Connect は
プレス工程の自動化を実現



ハイデルベルグは
各種自動化フローをプレゼンテーション

デジタル印刷システムは モノづくりのためのツールへ

デジタル印刷システムは、モノづくりのためのツールとして位置付けられ、「何を・どのように作るか」という命題にどのように応えるかが出展の中心となった。FFGS やリコージャパンなど大手メーカーのブースでも、デジタル印刷機がブース前面に出ることはなく、あくまでビジネス提案に重点が置かれ、印刷システムはそれを実現するための一つのツールとして紹介がなされた。

安定化技術やインライン化による 効率化へのアプローチ

印刷工程の安定化には様々な取り組みがあるが、既に各社の小型デジタル印刷機には、その内部にセルフアジャストメント機能を搭載し、印刷前ならびに印刷中の色、品質、用紙位置などをモニタリングすることが可能となっている。

本展示会では印刷から加工までのシステムがインライン接続されたデモンストレーションが数多く見られた。少子高齢化・人材不足という時代にあって、より効率的に高品質な印刷物を安定的に製造するための技術の提案としてとらえることができる。

コニカミノルタ AccurioPress C6100 に搭載されるインテリジェントクオリティオブティマイザー (IC-501) では、色変動や用紙位置の検出に加え、印字面の検査までをサポートする。印刷しながらリアルタイムに印字面の全面検査を行うことも可能であり、障害が検出された場合に



キヤノンはメディア別に
様々な用途を提案



理想科学工業は
リソグラフィの多様なサンプルを展示

は自動的にページし、ページ順、最終部数が変わることなく印刷を実行できるようになっている。リコージャパンは、用紙搬送から定着部までの安定搬送を訴求するため、最上位機種である RICOH Pro C9210 の前面パネルを開放して印刷デモンストレーションを行った。また、キヤノンは imagePRESS C10000VP の排紙部に除電モジュールを接続することで排紙時のトラブルを大幅に軽減させている。

また、インライン接続されたシステムとして、リコージャパンは RICOH Pro C7210 にホリゾンの SmartSlitter



SCREEN GP ジャパンが出展した Proof Jet F1100AQ



武藤工業の ValueJet 628MP は 特殊素材に校正出力が可能



ミマキエンジニアリングの 軟包装印刷向け校正システムの提案



サイン・ディスプレイ分野向け キヤノン Colorado 1650



段ボールパッケージ印刷向けの Xante Excelagraphix 4800



AGFA の大判インクジェットサンプル展示



OCEAN の積層型厚盛印刷システム



NSK が出展した DIMENSOR S は 基材の発泡効果で凹凸を表現する



シードの移動可能・可食インクが 利用可能なインクジェットシステム



デュプロの厚盛加工システム DDC-810



コニカミノルタ JETvernish シリーズ によるパッケージサンプル



箔転写・厚盛加工を小型機で 実現する光文堂の KBD きらり



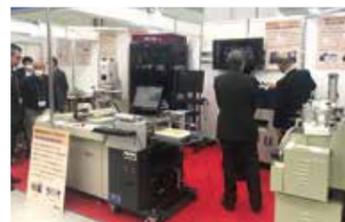
カット紙を給紙する仕様での ホリゾン Smart Binding System



BN テクノロジーブースに出展された C.P.Bourg 社製小型製本ライン



コニカミノルタの ラベル後処理システム DV-320



3D スキャナを中心とした トヨテックブース



カッタークリーサを中心とした 江東錦精社ブース



ラミネーターや高性能フィルムを 展示したフジプラブース



東京ラミネックスのラミネータ群



ESKO が展示・実演を行った Kongsberg カuttingプロッタ



村田金箔が出展した 多彩なデジタル箱とサンプル



Roland DG の Laser Decorator LD-300



加藤製本の レーザカutting商材



マルモ印刷による 抜き加工技術を利用した製商品



レインボーオフィスサポートによる マグネット商材



北海道磁気印刷のハリセンス



サイランの在版フィルムの データ化サービス



共進ペーパー & パッケージによる Be ONE Club の紹介

をインライン接続した。印刷システムと加工システムの間で中間ユニットを接続することで、今後様々な接続形態に対応させることができる設計となっている。またキヤノンは imagePRESS C660CA に封筒搬送ユニットを接続することで封筒印刷に対応、imagePRESS C910 には長尺印刷機能を搭載している。

高付加価値化へは 色材やメディアの多様化で対応

各社の小型デジタル印刷機はフルカラー印刷に加えて5色あるいは6色機といった多色機能を備え、特色や特色トナーなど色材面でのバリエーションを拡大することで、高品質フルカラー印刷に加えて様々な用途への対応や、付加価値の高い印刷物を製造可能なシステムへの改良が進められている。また、印刷可能な媒体にも工夫が凝らされ、様々な用途で小ロット、多品種印刷への対応が可能となっている。

FFGS はゴールド・シルバー・ホワイト・クリアの4色を選択利用可能な Iridesse Production Press を展示するとともに、それらの特殊トナーを独立して利用可能な小型デジタル印刷機 DocuColor 7171P (Model-ST) を出展した。また、リコージャパンは特種トナーとして、蛍光イエロー・蛍光ピンク・ホワイト・クリア・インビジブル(不可視)レッドの5色の特殊トナーを利用した幅広いサンプルの出展を行った。カラー紙やフルカラーで印刷済みの印刷物に、加飾効果としてメタリック効果やホワイトでの特殊効果を加えることができるため、効果の高い印刷物の提案が可能となる。

また、印刷媒体では、薄紙から厚紙までの用紙に加え、蒸着紙など特殊紙もデジタル印刷システム対応のものが増加している。竹尾からはデジタル印刷機向け蒸着紙や質感を大切にしたい用紙群、長井紙業は和紙を中心とした小ロット対応用紙が、デュポンからはデジタル印刷機向けのユボやタイベックといった印刷媒体が出展された。

新プレイヤーの参入と 各社からのビジネス提案

商業印刷向けの小型デジタル印刷機には、京セラならびに理想科学工業が新たに参入した。両社ともインクジェット技術を利用した高速枚葉デジタル印刷機を国内で初めて出展し、その機能や優位性を訴求した。

京セラの TASKalfa Pro 15000c は水性顔料インクを利用しており、600 × 600dpi で 150ppm の高速印刷

を実現する。同社のインクジェットヘッド技術が搭載されたモデルとなっている。理想科学工業は既に欧州で発売開始している VALEZUS T2100 を実機出展した。同機は油性インクを利用し、160ppm のプリントエンジンをタンドム接続することで 320ppm を実現する。通知物分野も視野に入れており、マイクロテクニカの検査モジュールをインラインで接続し、大容量の給排紙ユニットも備える。両社の出展は多くの注目を集めた。

また、既存デジタル印刷機メーカーの出展では、数多くの顧客サンプルが展示された。これまでの印刷サンプルの配布は影を潜め、実際にマーケットで利用され、効果が上げられた事例や、実際に利用された印刷物を展示することで、何を顧客に提案・提供することが印刷ビジネスにとって必要であるかといったビジネス面での提案がなされた。

幅広い応用分野をもつ インクジェット印刷技術

デジタル印刷技術の中でも、近年その利用を大幅に拡大しているのはインクジェット技術である。商業印刷から産業印刷、さらには加飾分野まで様々な用途での利用が始まっている。その背景にあるのは、印刷媒体と接触することなくイメージングができること、および様々な特性をもつインクを利用できることにある。本展示会で見られた数多くの出展を見ていきたい。

校正分野では SCREEN GP ジャパンが本紙校正機 Proof Jet F1100AQ ならびに武藤工業の ValueJet 628MP を出展した。前者は水性インクを利用し一般印刷本紙に、後者は溶剤系インクを利用することで各種特殊媒体への校正出力が可能となっている。また、ミマキエンジニアリングは、12 μ PET や 20 μ OPP などにプリントが可能な原反色校正システムを提案した。オンライン校正への移行が難しい商材など、本紙および実際に使用する原反に高精度にカラーマッチングされた出力を手に行うことができる。

特定の印刷分野向けとして、サイン・ディスプレイ分野でキヤノンが Colorado 1650 を初出展した。同機は UV インクを利用しマット・グロスと印刷の質感を選択することが可能となっている。BN テクノロジーブースでは、パッケージ市場向けに Memjet インクジェット技術を搭載した Xante Excelagraphix4800 が出展され、段ボール基材に直接印字するデモンストレーションが行われた。

特殊印刷としては、AGFA ならびに OCEAN は積層に

page2020

よる厚盛印刷までを可能とした印刷システムと様々なサンプルを展示し、ミマキエンジニアリングではシルバーインクが展示された。大判インクジェットシステムは、その速度は遅いもののUVインクによる即時乾燥を組み合わせることで多様な商材を手掛けることが可能である。NSKブースでは、基材の発泡効果により厚盛印刷を行うDIMENSOR S大判インクジェットプリンタが出展され、UVインクによる厚盛とは異なるしなやかな凹凸の質感が訴求された。さらにシードのインクジェットシステムは、印刷システムそのものを移動できる仕様となっており、可食インクを利用することで食品へのダイレクトプリントも可能としている。

また、加飾に特化したシステムでは、デュプロがUVインクによる厚盛加工を可能としたDDC-810を出展、コニカミノルタは同社の加飾加工システムJETvernishシリーズで作成された化粧品の実サンプルを展示、光文堂は箔転写、厚盛を小型機で実現するきらりを出展した。

後処理は製本・加工の多様化に加え 様々な高付加価値商材として展示

印刷製商品は印刷工程で完成するものではなく、後処理を経て最終的な形に仕上げられることから、小ロット・多品種化の時代を迎えても非常に重要な工程であると言える。本展示会では、小ロット化に向けた様々な後処理システムが出展された。また一方で、印刷パートナーゾーンでは、特殊な加工技術や製本技術を利用することで、高付加価値商材や付帯サービスなどが展示された。

後処理システムは 自動化・効率化と高付加価値化へ

高度に自動化された製本システムを製造するホリゾン は、今回も自動無線綴じ製本ライン Smart Binding System を出展した。JDFにより自動プリセットされる製本ラインは、各種コードをリアルタイムに読み取ることによって束厚やページ数の異なる書籍を自動製本することが可能となっている。これまでは大型インクジェットのロール紙からの製本が実演されるが多かったが、本展示会では

折加工済みのペラ丁からの無線綴じがデモンストレーションされた。BNテクノロジーでは、C.P.Bourg社の小型製本ラインが出展され、カット紙出力からの多様な小ロット製本が実演された。コニカミノルタでは同社のラベル市場向けデジタル印刷システム AccurioLabel 230の後処理システムとして、廉価版のデジタルカッティングプロッターが出展された。

単一処理のシステムでは、トヨテックが3Dスキャナを中心とした各種後処理システムを出展した他、江東錦精社がカタークリーサを中心とした後処理製品群を出展、さらにラミネート機はフジプラ、アコ・ブランド・ジャパン、東京ラミネックスなどから出展された。また、ESKOから大型・高速のKongsbergカッティングプロッターが展示された。

高付加価値化を目指した加飾分野では箔加工が注目を集め、村田金箔から多彩なカラーを持つデジタル箔が、Roland DGからはレーザー技術に応用した箔転写システム Laser Decorator LD-300が出展された。

印刷パートナーゾーンで見られた 高付加価値商材や各種サービス

印刷会社を中心となって出展が行われた印刷パートナーゾーンでは様々な興味深い商材やサービスに出会うことができた。顧客からの要望は今後益々多様化が進むことになる一方で、印刷会社が顧客に向けた提案を行っていく上では、多くの引き出しを持つことが重要になる。そういった意味で出展された内容は大変興味深いものであった。

製本分野では東京都製本工業組合や東京製本二世連合会による特殊製本や通常とは異なる質感により高級感や特別感を与える様々な製本サービスが出展された。また、特殊加工分野では、加藤製本のレーザーカッティングによる様々な製商品、マルモ印刷の抜き加工を利用した製商品が出展された他、レインボーオフィスサポートではマグネット加工を施したカスタム印刷文具が、北海道磁気印刷からは独自商材であるハリセンスが出展された。また、サービス面では、サイランが在版フィルムのデジタル化サービスを展示した。共進ペーパー & パッケージによる Be ONE



■筆者プロフィール 宮本泰夫（みやもとやすお）(株)バリューマシーンインターナショナル取締役副社長。1993年より東洋インキにてデジタル印刷機の技術、アプリケーション開発に携わる。2003年にバリューマシーンを設立し現職。独立系コンサルタントとして、デジタル印刷を中心とした、基礎技術から、デジタルワークフローやWeb-to-Printなどビジネス技術面でのコンサルティング、企画・セールス・マーケティング面でのビジネス開発コンサルティングを多数手掛ける。クロスメディアソリューション研究会運営理事、全日本印刷工業組合連合会 印刷営業講座専任講師、日本印刷技術協会（JAGAT）客員研究員、日本グラフィックサービス懇話会顧問、フォーム印刷研究会講師、情報工学修士。

Clubが紹介された。国内で唯一、B1サイズの紙器パッケージ向けデジタル印刷システムを保有する同社が、保有システムを共同利用しようという試みであり、小規模印刷会社であっても大きな投資なくして製造システムを利用することが可能となるものである。

終わりに

印刷産業を取り巻く環境は、デジタル化という言葉では表現しきれないほど大きくその形を変えようとしている。page2020は、単なる印刷機材展、ソリューション展という枠組みから大きく飛躍したものと見ることができる。

展示会場で特徴的であった点は、デジタル印刷機を展示しながら印刷サンプルの配布がほとんどなされなくなっている点である。来場者にとって、これまでは「どのシステ

Column 製竹所の廃業危機救ったM&A

e-中小企業ネットマガジンVol.909より転載 (http://www.chusho.meti.go.jp/e_chusho/index.html)

経営者の高齢化と後継者不在で存続が危ぶまれていた創業100年を超える永井製竹(株) (大分県別府市)の事業は、卸業者と竹細工組合の共同出資によるM&Aが成立し、2019年6月から新体制で継続している。同社は、経済産業省指定の伝統的工芸品「別府竹細工」などの材料となる真竹や孟宗竹の加工に不可欠な湯釜を保有して大規模展開している唯一の製竹業者。今回のM&Aで、同社が廃業すれば竹加工品・竹材の供給が途絶えて、全国の竹製品卸業者や小売り業者の経営に影響するという最悪のケースを回避した。

竹細工産業の最盛期は約50年前。太さや節の間隔がほどよく、細工に適した竹林が多数あった別府は国内有数の竹の産地だったが、安価な中国製品の台頭で需要が大幅に減少。林業者も減って伐採自体が滞った。卸業者に竹加工品を、竹工芸品メーカーや竹細工職人に竹材を提供する、永井家が代々継いでいる同社も例外ではなかった。こうした事情に加え、バブル崩壊などの経済不況に見舞われて債務超過に陥っていた。

同社の前社長は、従業員として1950年代から勤め始め、2010年に4代目を継いだ永井貴美代氏。事業承継は意識していたものの、ノウハウを持ち合わせていなかったことから、大分県由布市の監査委員を務め、自らも地元でホームセンターを経営していた実弟の土屋誠司氏を2017年に監査役として招聘。承継準備に着手した。土屋氏は、同社が廃業した

ムを使うか」を判断するために展示会を訪れ、それぞれの機種のサンプルを収集して比較検討することが主眼であったため、各社ともその品質や特徴を訴求するサンプル配布が中心であったが、現在は大きく異なるのである。

来場者にとっては、「何を作るか」そして「どのように作るか」といった将来に向けてのビジネスのヒントが求められていることが、展示会のトレンドからも見て取れるのではなかろうか。その結果として、営業・ビジネス面、製造面に多様な切り口でのビジネス提案が行われた展示会となった。

page2020のテーマで"for Business"と示されたように、今後は印刷というビジネスをどのように組み立てていくか、言い方は乱暴であるが、印刷というビジネスで生き残っていくためには何を考えれば良いかという点に大きなテーマが移っているように見える。本展示会での気づきを各社のビジネスに活かしていくことを期待したい。

場合、4000平方メートルにおよぶ代々の土地と建物の処分費が負担になることなどを踏まえてM&Aを選択。企業の事業承継を仲介する大分県事業引継ぎ支援センターの山中俊弘統括責任者およびセンターに登録している不動産鑑定士の支援を受けて、引き受け先の選定に取り掛かった。

ほどなく同社の存続を強く望んだ竹製品と民芸品の卸売業を営む(有)竹苑(別府市石垣東)と竹細工職人で構成する別府竹製品協同組合(岩尾一郎理事長)による共同出資案がまとまった。従業員全員の雇用維持と土地は最低5年間、製竹関連事業以外には使用しないという条件付きで事業譲渡に合意。新社長には2018年3月に東京から転居し、従業員として「湯釜」の仕事を担当していた茶重之氏(当時57)が就任し、前体制から引き継いだ平均年齢73歳の職人集団を束ねている。発行済み株式は、竹苑の向功彦代表取締役、別府竹製品協同組合と新社長の茶氏が、ほぼ3分割して取得した。

支援センターの山中氏は「M&A案の浮上から新体制移行まで約2年で円滑に完了した。経営や監査経験のある土屋氏の貢献は、極めて大きい」と同氏の手腕を高く評価している。同氏も「従業員や関係事業者ら全員の同意を得ることが最も困難だった。当事者間の交渉では難航したかもしれない。経営経験があって役員勘定などを理解している部外者が仲介したことが奏功した」と振り返った。

基本性能を
追求した
Proの最高峰。

RICOH
imagine. change.

多様化するニーズに対応し、ハイクオリティな印刷を続けられるタフな生産機。
生産性を高める高速出力、滑らかな高画質、高精度なレジストレーション、
幅広い用紙対応力など磨き上げた基本性能に加え、新技術 IQCT* for High-End による印刷品質の自動安定化と
印刷前の調整作業の省力化により、デジタル印刷ビジネスを強力にサポートします。
リコーの新たなフラッグシップモデル RICOH Pro C9200 シリーズの登場です。



RICOH Pro C9210/C9200

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

*Inline Quality Control Technology ※写真はRICOH Pro C9210 にオプションを装着したものです。

プロ、体感。 RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース RICOH Proをはじめ、プロダクションプリンティングビジネスの新たなソリューションをご覧ください。またDTPセミナーも定期的に開催中。
お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。

この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスであるRICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。 * iPhone/iPad/Android™ アプリケーション「RICOH CP Clicker」(無料)をダウンロードし、
広告を撮影(クリック)すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧いただけます。

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2

FUJIFILM
Value from Innovation

200人*の社長が決断。 30万人*の「働き方」を変えた。

国内約200社*の印刷会社が導入。その決断から生まれたのは、時間や場所に縛られない、
自由なコミュニケーション環境。クライアントも含めた30万人のユーザーが、
XMF Remoteで、新しい働き方を始めています。

*当社調べ



**NEVER
STOP**

Web ポータルシステム

FUJIFILM WORKFLOW

xmf Remote

■ XMFを活用されているお客さまの事例を多数ご紹介しています。

FFGS XMF



富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

補助金のひろば⑤

「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」

経営基盤強化委員会

経営基盤強化委員会（岡澤担当副会長、中村副委員長）は、経営に役立つ補助金情報を隔月で紹介しています。今回は大橋邦弘委員（南大橋印刷商会：宮城）が「新型コロナウイルス」関係の補助金について紹介いたします。



×

経産省 HP で各種情報提供

今般の新型コロナウイルスの流行により、影響を受ける中小企業・小規模事業者を対象として、経産省 HP において、

- ①資金繰り対策（セーフティネット保証の発令のほか特別貸し付けや金融機関への配慮要請）

- ②設備投資・販路開拓支援
 - ③経営環境の整備を核とした補助金等の支援制度等の各種情報を案内するページが開設されました。（左下）
- また、本ページからは、「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」と題した、支援策をまとめた PDF がダウンロードできますので、ぜひご覧ください（下5葉）。なお、ここでの情報は逐一更新されていますので、定期的にチェックして最新情報の取得をお願いいたします。

また、次ページのジャグラー本部事務局でまとめた関連情報もご参考にしてください。

大震災の経験と補助金

我が社は、東日本大震災で社屋が大規模半壊し、生産設備も大きなダメージを受けました。今振り返ってみればよく復活できたものだと思いますが、義援金申し込みや補助金の情報収集をして、財務面から立て直しを始めたことが功を奏したと思います。政府、宮城県、仙台市の手厚い支援策、そしてジャグラーの皆さんからの激励と義援金に大いに力を戴きました。

この原稿を書いている3月1日現在、新型コロナウイルスについては、まったく先行きが見えませんが、皆さんが今号を手取る頃には事態が終息していることを祈るばかりです。

左）経産省の新型コロナウイルス感染症関連情報のページ

<https://www.meti.go.jp/covid-19/>

下5葉）支援策をまとめた PDF の一部（3.6時点のもの）



新型コロナウイルスへの対策・対応について

新型コロナウイルスの感染が広がっていることを受けて、ジャグラーでは2月18日より首相官邸・内閣官房・厚生労働省等の感染防止対策のほか、経済産業省・中小企業庁等の経営支援対策等の情報をメール・FAXで発信しています。会員の皆さまにおかれましては、感染防止対策の実施を是非お願いいたします。

×

ジャグラーも大きい会議の開催中止・延期をしているほか、比較的少数の会議は中止・ネット会議での開催、感染リスクを低減した配慮をしておける開催等の措置をとっております。会員の皆さまにおかれましては、従業員等が感染した場合の対応措置について、BCP等の観点からも、事前に対策を検討しておいてくださるようお願いします。なお、政府の方針・対策はウェブで日々更新されておりますので、参考にしてください。

厚生労働省

●新型コロナウイルスに関する Q&A（企業の方向け）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00007.html

【主なコンテンツ】

- ・労働者を休業させる場合の注意点
- ・感染者を休業させる場合の休業手当は？
- ・やむを得ず休業とする場合等の注意点
- ・感染が疑われる労働者について、病気休暇を取得したこととする場合は？
- ・コロナ対応で労働時間が減少または増加してしまうが、36協定の特別条項は？
- ・労働安全衛生法第68条に基づく病者の就業禁止の措置を講ずる必要は？
- ・時差通勤、テレワーク、雇用調整助成金について

●新型コロナウイルスについて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

●新型コロナウイルス感染症に係る時間外労働等改善助成金（テレワークコース、職場意識改善コース）の特例について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09904.html

●新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の特例措置の拡大について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09941.html

●新型コロナウイルス感染症に係る小学校等の臨時休業等に伴う保護者の休暇取得支援（新たな助成金制度）について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09869.html

経済産業省

●新型コロナウイルス感染症関連特設ページ

企業への影響を緩和し、支援するための施策について
<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

【主なコンテンツ】

- ・経営相談窓口の開設
- ・資金繰り支援（セーフティネット保障4号・5号）
- ・4号は別枠＜最大2.8億円＞で100%保証（売上げが前年同期比▲20%以上減少の場合）
- ・5号は別枠＜最大2.8億円＞で80%保証（売上げが前年同期比▲5%以上減少の場合）
- ・設備投資・販路開拓支援
- ・雇用調整助成金の特例措置（要件緩和）
- ・学校休校に伴う休暇取得支援
- ・中小企業・小規模事業者向け相談窓口

中小企業庁

●新型コロナウイルスに関連した感染症対策情報

資金繰り支援（セーフティネット貸付・保証等）やサプライチェーンの棄損等に対応するための設備投資・販路開拓支援、経営相談窓口の開設など、中小企業・小規模事業者向けの取り組みなど。

<https://www.chusho.meti.go.jp/corona/index.html>

●新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対する官公需における配慮について

<https://www.meti.go.jp/press/2019/03/20200303009/20200303009.html>

その他

●首相官邸：新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

●内閣官房：新型コロナウイルス感染症ポータルサイト

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

●内閣府：企業主導型ベビーシッター利用者支援事業における「ベビーシッター派遣事業」の令和元年度の取扱いについて

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/sitter_atukai.html

高品位フルカラーデジタル印刷機

Impremia C Series

インプレミアCシリーズは、KOMORIブランドの高品位フルカラーデジタル印刷機です。当社開発のカラーマッチングソフトウェアK-ColorSimulator 2との運用でオフセット印刷との容易なカラーマッチングを実現します。プロフェッショナルプリンティングの世界で求められるハイレベルなニーズに呼応。オフセット印刷に迫る高画質・高精細出力、美しさが変わらない卓越した画像安定性、広範な用紙対応力、そして付加価値を高めるフィニッシャー群を有し、高度な製品技術力と新たなワークフローによるトータルソリューションで、印刷事業における新しい価値を創造し、イノベーションをもたらします。

その仕事、
KOMORIのPODに
お任せください!

POD特設サイトにて
ラインアップ・活用事例を紹介中



Digital On Demand : The Next Komori Solution

文化典高知大会 実行委員会より②

文化典高知大会 副実行委員長
(株)リーブル・代表取締役 坂本圭一郎



先 日、長男(小学校4年生)の「2分の1成人式」なるものに出席しました。自分が子どもの頃にはなかった行事なのでよく分かっておらず、別のイベントもあったため当初は参加しない予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で出席することになりました。クラス7人という田舎の小規模校で、他の子たちも保育園の頃から知っている為、「みんな大きくなったなあ」と、長男の発表の前から既にウルウルともらい泣きしていたのですが、「ボクを生んでくれて、育ててくれてありがとう。大人になったら、お父さんお母さんがいなくても(自閉症の)弟を守っていきたいです!」と長男が発表し始め、ついに涙腺が崩壊。10歳の子どもなりに、この節目の式の意味を理解し、10年間を振り返って親への感謝の思いと今後の決意を一生懸命伝えるという、とても素晴らしいイベントでした。

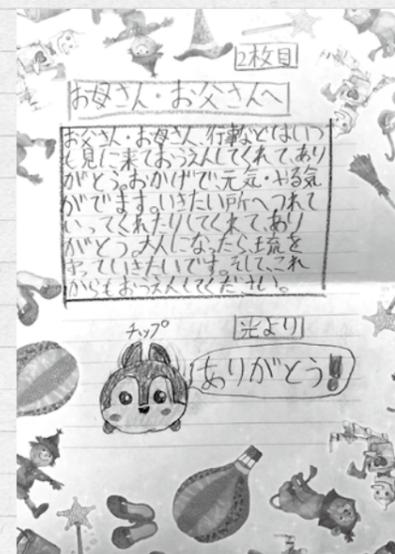
さ て、私事ですが3月1日付けで代表取締役に就任致しました。前途多難ですが、全力で頑張りたいと思いますので、ぜひ皆さんに高知に来ていただきご指導いただければと思います(笑)。ここで、弊社ホームページに掲載した新社長としての挨拶をご披露させていただきます。「高知愛」もたっぷりと込めて書いたつもりです。

近 年、全国から(海外からも)、弊社で本を出版したいという著者様が増え、おかげさまでご好評をいただいております。編集やデザインへのこだわり、画質の再現性、他社にマネのできない印刷技術など、弊社のアピールポイントはたくさんありますが、なかでも一番は、社員一人一人の「本と人に対する真摯で温かいまなざし」ではないかと最近思うようになりました。

心が洗われるような美しい風景の写真集、心がポカポカと温くなるような絵本、壮絶な人生に思わず涙させられる自伝、気持ちが軽くなるようなエッセイ、そして紙の質感や温もり、インキの独特な匂いなど、私たちは多くの著者様に寄り添いながら懸命に本を作れば作るほど、「本っていいな」「人っていいな」と素直に思う気持ちが強くなっています。そしてその一人一人の温かいまなざしは、この大らかで人懐っこい高知だからこそ育まれたもので、今の世の中だからこそ大事にしなければならない一つの文化なのではないかと思えます。

私たちは本を通じて、感動や生きる喜び、ワクワクする気持ち、温もりなどを伝えることが使命なのですが、それは決して失われてはいけない大切な文化の良さを改めて問いかけ、発信するという田舎からの挑戦でもあるのです。

弊社の社是は「幸せの種をまく」です。本当の幸せは、自分だけが幸せになるのではなく、自分の周りのみんなが幸せになること。そのために今日も私たちは種をまき続け、幸せの輪が大きく広がっていくことを願っています。



文 化典高知大会も、1年間の「節目」というとこじつけかもしれませんが、総会ではしっかりとこの1年間を振り返り、次の1年の目標・計画を明確にし、式典では作品展やコンテスト・功労者・優良従業員など、日頃の成果や功労を称えあいながら、今後について熱く語るという1年に一度の大きな節目ですから、組織と社業の成長のヒントを共有するためにも、多くの方に主体者としてご参加いただきたいと思います。

優良従業員表彰の申請を受付中です

4.23本部必着 支部長経由での申請となります (申請書はジャグラHPからダウンロードしてください)

ジャグラは今年もジャグラ文化典において優良従業員の表彰を実施します。優良従業員表彰は従来15年以上勤務した従業員を永年勤続従業員表彰として表彰していた制度に代わる表彰として平成16年より実施しているもので、現在、その申請を受け付けています。

支部長経由で

表彰の申請には支部長の認証が必要ですので、次ページ書式もしくはジャグラHPより申請書 (Word文書) をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、支部長にご提出ください。

×

●手順

- ①推薦したい従業員がいる場合、所定の申請書にて、支部長 (または支部事務所) あて申請してください。
※申請書は支部経由で、本部へ提出してください。
その際、支部長のご印鑑の押印をお願いします。

●表彰基準

- ①その従業員が優秀で、他の従業員の模範になる場合
- ②その従業員が優秀な実績を残した場合
- ③その他、その従業員を表彰するにふさわしい場合
※その従業員が上記のいずれかに当てはまると、代表者が判断した場合に申請できます。
※なお、従業員とは「労働組合法第3条」による労働者 (賃金その他これに準ずる収入で生活するもの) であって法人の場合は社員から役員になった者であっても、出資金がその法人の資本総額の十分の一以下であれば、従業員とします。
※当該事業所に従事している事業主の配偶者は除外します。

●経費の負担

- ①優良従業員 (被表彰者) に授与する表彰状、記念品はジャグラが用意しますが、経費は申請する会社で負担してください。費用は概ね1万円見当です。後日、請求書を送付しますので、それに従い振り込

てください。

- ②被表彰者が表彰式に出席するための一切の経費は、表彰の趣旨を生かすため、事業主がご負担くださるようお願いいたします。

●支部長の認証および本部への提出

- ①申請書は支部長が受け取り、該当欄に、署名押印し、一括して本部へ提出してください。
- ②本部締切……4月23日必着 (24日の理事会に間に合わせるため)

●表彰決定の通知

- ①各支部長より提出のあった申請書は、本部理事会の承認があると、ジャグラより各事業所に書面で通知します。

●表彰式

- ①文化典式典 (6月6日、高知・ホテル三翠園) で被表彰者へ表彰状および記念品を授与します。
- ②被表彰者の式典後の懇親会への招待はありません。
- ③懇親会出席を特に希望される場合は全額事業主負担となります。申し込みは、通常の文化典申し込み用紙で申し込んでください。

●欠席者の取り扱い

- ①表彰式に出席できない被表彰者へは、後日、賞状および記念品を送付いたします。(会社住所宛)

お問い合わせはジャグラ事務局まで
tel.03-3667-2271

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数十秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



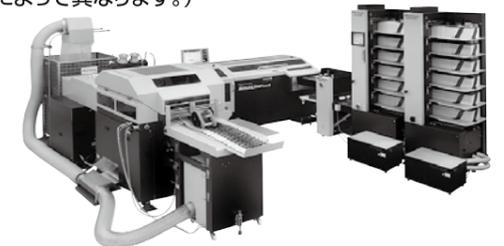
自動無線綴機4クランプタイプ BQ-480

セット替えの高速化による、小ロット、バリエーション製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるバリエーション製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



全油圧断裁機 APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大藪町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112

理事会&委員会通信 ジャグラの活動報告です

ジャグラコンテスト部会、教育・技術委員会 議事録より

ジャグラの諸会議や活動内容について、理事会や各委員会の議事録掲載を通してご報告いたします。

×

第4回ジャグラコンテスト部会

1. ジャグラコンテスト第5回について

専門委員会議の開催、第1次審査・2次審査、今後のスケジュール、予算執行状況について報告した。

【決定事項】

2020年6月6日、文化典高知大会で実施する表彰式について、交通費だけでなく宿泊費もジャグラで負担する。

【主な意見】

- ◎会員外の参加者が入賞した場合、ジャグラへ入会してもらうよう勧誘していきたい。
- ◎専門委員の人数は減らさず、会議回数を減らすことで経費を抑えてはどうか。

2. 検討事項：今後のコンテストについて

- ◎初心者部門 / エキスパート部門に分けることはいいアイデアだが、運営側の負担に問題はないか？
- ◎Illustrator と InDesign の隔年交互開催案については、毎年同時開催が可能ならば、その方が望ましい。
- ◎これまでの参加企業にアンケートを実施してはどうか。

日時	2019年11月26日(本部)
出席	笹岡誠部会長兼専門委員、熊谷正司副会長、宮崎真理事、谷川聡理事、沖敬三専務、並木清乃事務局長、阿部奈津子職員(専門委員の臨席はなしで実施)

第13回 教育・技術委員会 議事録

1. 全国協議会実施報告

2019年11月15～16日の全国協議会で実施した内容とアンケート結果について報告した。

【決定事項】

アンケート結果は、機関誌に掲載して全会員に共有する。

【主な意見】

- ◎次回の全国協議会でもテーマは会長に決めてもらいたい。
- ◎今回は「生産性向上」がテーマだったが、参加者毎に要望が異なるため、セミナーの講師選定についてもディスカッションについても、全員を満足させるのは難しいと感じた。

2. 事業・部会活動報告

1) プロフェッショナル DTP&Web スクール

- ◎オーダー研修、講師派遣、委託研修実績について報告した。
 - ◎スクールの移転(本部 1F → 9F)が完了したことを報告した。
- 【決定事項】

スクールで使用している PC を来期買い替える。数社から見積を取り、来年度予算に計上する。

2) ジャグラコンテスト部会

- ◎部会、専門委員会議の実施について報告した。
- ◎2次審査が終了し、総合順位が決定したことを報告した。
- ◎ジャグラコンテスト参加者のレベルが年々上昇しており、採点レポートが非常に好評である旨、報告があった。

【主な意見】

- ◎マイスターセミナーはこれまで大阪・広島で開催と西日本に偏っている。今後は東日本で開催できないか。
- ◎東日本開催の場合、仙台でとなるが、移動の問題で大人数を集めるのは難しい。各支部単位での開催が妥当ではないか？
- ◎商工会議所でセミナー開催助成金があるか調査する。

3) POD 研究部会

- ◎(株) Amazing Day の「クラウド型印刷 API システム」についてプレゼンを受けた旨、報告した。
- ◎昨年11月の部会で、日本ビューレット・バックカードの仲田周平氏による「紙復活 プリントメディアの再定義」というプレゼンを受けた。主催は機関誌に掲載する予定。

【主な意見】

- ◎質問：(株) Amazing Day のシステムは具体的にどのようなことができるのか？
- ◎回答：導入実績として、Web上の自動組版システムを利用し、バレーボールチームのファン向けに好きな選手のグッズを受注生産するサービスがある。例えば選手カレンダーでは、顧客が画像を選択すると、自動的にカレンダーの印刷データが生成され、自社の印刷機でダイレクトにプリントできるような仕組みである。→機関誌で紹介

◎今期の活動のまとめと、来期の活動方針を考えていきたい。

4) ジャグラ BB 部会

- ◎アクセス数、番組制作実績、今後配信予定の番組を報告した。
- ◎原田部会長より、番組充実のため、コンテンツ買取りや字幕入れ等の改善を検討している、現場の社員の方に観てもらえるような広告宣伝を打ってほしいとの報告があった。

【主な意見】

◎視聴数を上げるには、現場社員への PR が必要なので、Twitter 等 SNS を活用した PR を進めてはどうか。

◎自社サーバーでのクローズドな運営を見直し、YouTube 等で番組を一般公開してはどうか。浮いたサーバー代を動画制作費に充てることができるのではないか。

◎現在の配信番組は、全てジャグラ BB のみで公開することを前提に許諾を取っているため、YouTube 等で一般公開する際は許諾の取り直しが必要。その労力を費やしてでも YouTube 等へ切り替えるのか慎重な判断が必要。

◎YouTube 等への切り替え判断は、ジャグラ BB 部会の範疇を超える問題であるため、理事会での決議が必要である。

3. その他

1) エディアン利用状況調査について

笹岡理事より、賛助会員・NEC ネクサソリューションズが会員企業のエディアン利用状況調査を希望しているため、教育・技術委員会で協力したいとの提案があった。

【決定事項】

まずはジャグラコンテスト専門委員会議にて、エディアンに関する聞き取り調査を行い、製品に対する評価を確認してから今後の対応を検討する。

日時	2019年11月26日(本部)
出席	宮崎真委員長、熊谷正司副会長、中村耀会長、笹岡誠理事、谷川聡理事、原田大輔理事、向井一澄理事、木戸敏雄氏、山本一幸氏、沖敬三専務理事、守田輝夫常務理事、並木清乃事務局長、今田豪職員、阿部奈津子職員

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

- 特長1** 掛金が割安です (例：30歳男性、1口277円/月)
- 特長2** 死亡時保障額は最高1600万円
- 特長3** 事故による入院もワイドに保障
- 特長4** 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます
- 特長5** 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで **Tel.03-3667-2271**

お知らせ

| 会 | 員 | の | 異 | 動 |

■新入会

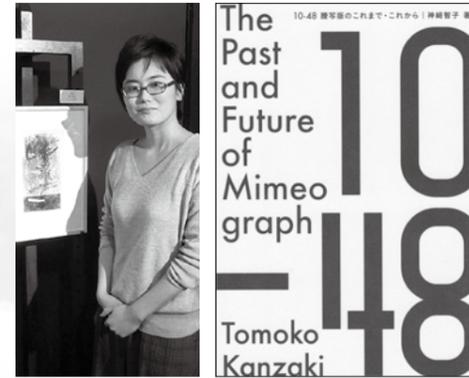
- ◎(有)エイチ・ティープログレス 染野ひろ美(東京・中央)
〒134-0087 江戸川区清新町2-9-6
Tel.03-3675-8636/Fax.03-6875-4666
- ◎(株)エーカーズ 小川 英樹(東京・三多摩)
〒105-0013 港区浜松町1-27-4 神丸ビル3F
Tel.03-6402-5611/Fax.03-6402-5622
URL: www.acars-j.com
- ◎正文社印刷(株) 川端 淳子(東京・城西)
〒158-0083 世田谷区奥沢7-18-1
Tel.03-3703-2311/Fax.03-5707-7006
- ◎(有)立花パッケージ 重本 裕司(東京・新宿)
〒131-0043 墨田区立花6-2-15
Tel.03-3617-6907/Fax.03-3617-6235
URL: https://tachibana-package.com/
- ◎CSJ(株) 後藤 規之(愛知)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-14-32
Tel.052-253-5823/Fax.052-253-5848
- ◎(有)ディック 柴田 健吉(愛知)
〒470-1116 豊明市新田町吉池26-5 吉池ビル4F
Tel.0562-93-6161/Fax.0562-93-8170
- ◎(株)ビーアンドディーヒロサワ 谷口 太(大阪)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-2-15 8F25
Tel.03-3965-8451/Fax.03-3965-7272
- ◎(有)隆文社印刷所 田淵 恭一(和歌山)
〒644-0002 御坊市菌512
Tel.0738-22-0115/Fax.0738-23-3805
URL: http://www.ryubunsha.com
- ◎(株)エヌ・ケイ・ステーション 中本 浩美(和歌山)
〒640-8341 和歌山市黒田95-3
Tel.073-473-3587/Fax.073-473-3603
URL: http://nkstation.com

| 会 | 員 | 名 | 簿 | 発 | 行 | 延 | 期 |

「JaGra 会員名簿」は、毎年4月1日に発行していますが、本年は役員改選の時期にあたるため、発行を6月中旬以降に延期させていただくことになりました。ご了承のほど、お願い申し上げます。

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



印 刷産業の生産技術としての「謄写印刷」は、随分昔にその役割を終えてしまいましたが、その技術は現在もアート分野で受け継がれています。謄写版を用いて作品を創作している版画家・神崎智子さん（東京）も、そのお一人です。

神 崎さんは10-48.net（トーシャドットネット）という自身のHPで情報発信していますが、このほど『10-48 謄写版のこれまで・これから』と題した書籍を刊行しました（A5判 200頁・税込 3980円）。自身の作品紹介にとどまらず、謄写印刷が日本でどのよ

うに普及発達してきたか、海外における謄写印刷アートの状況等々、神崎さんがこれまで見聞きしてきたことを網羅した充実した内容で、刊行に際しては、ジャグラも写真を数点提供する形で協力し、クレジットにも明記していただいております。

〽 承知のとおりジャグラの祖は謄写印刷にあり、神崎さんのようなアーティストがその技術を作品という形で世の中に発表することは、間接的に私たちの先達にスポットライトが当たることに繋がります。ジャグラが応援しなくてはなりません。ご賛同いただける方は、どうぞ本書をご購入ください！



書籍は10-48オンラインセレクトショップ (<https://1048.shopselect.net/>) よりご購入いただけます。こちらでは、神崎さんの作品はもちろん、原紙や鉄筆などの機資材も販売しています。

お知らせ | 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内

広報部会（早坂淳部会長）では、本誌『グラフィックサービス』の印刷製本業務（本年7月号より2年間）を請け負っていただく会員企業を募集します。入札に際しては価格だけでなく内容を重視します（取材編集・短納期・発送・環境・UDなど何でも結構）。下記仕様をご確認のうえ、見積書/ご提案書を5月14日（木）までに郵送（必着）またはご持参ください。

- 本誌仕様
- ①判型：A4判 ②頁数：32ページ以上（表紙込）
 - ③色数：表紙4色+本文1色
 - 注) ②③は最低限の仕様です。ページ増、本文の一部または全部をカラー刷りとする提案も受け付けます。
 - ④校正：表紙・本文ともPDFによるネット校正で可
 - ⑤入稿：Adobe CC生データでネット入稿
 - ⑥印刷：印刷業者が構成する一般社団法人が発行する機関誌としてふさわしい品質であること（紙版不可）。
 - ⑦部数：1300部 ⑧納品：ジャグラ事務局&発送会社
 - ⑨納期：校了後7営業日以内に発送すること（厳守）

- ⑩備考：印刷・製本については、その種類（オフセット/オンデマンド、無線綴じ/中綴じ）を問いません。
- 求められる制作環境
- ① Adobe InDesign生データでの入稿となります。毎回、誤植などの修正作業が発生するので、Adobe CC 最新バージョンおよびモリサワ書体の所有は必須です。
- ②ネット入稿となりますので、自社サーバー必須です。（レンタルサーバー可。gigafile 便等の汎用サービス利用不可）
- 見積書&ご提案書（様式不問）について
- ①「印刷・製本」の見積書としてお願いします。
- ②「印刷・製本」以外=取材、制作（編集）、発送などのご提案については別見積りとしてください。
- ③本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料（予算書）などもご参考のうえ、ご応募ください。
- 問い合わせ・送付先
- ジャグラ事務局・守田まで
- tel.03-3667-2271 / E-mail edit@jagra.or.jp

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口
プリントデスク ☎ 0120-269-132
平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net



SHOWA

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

SHOWA会

- 年間活動
- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
 - 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
 SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

JaGPa News

業・界・の・動・き

ジャグラ関連 | 日印産連 | 印刷業界全般 | 行政情報 etc.

ジャグラ

1.30 近畿地協 幹事会・懇親会を開催 於 神戸・元町「大陸風」

去る1月30日、ジャグラ近畿地方協議会は、神戸元町の「大陸風」において、新年度第1回目の幹事会と懇親会を開催しました。

×

●「やる気、元気、近畿」

この日の幹事会では、今期の活動スケジュール案や各支部の近況報告の他、来年、近畿での開催が決定しているジャグラ文化典の日程と会場が下記の通り承認されました。

運営委員長は2期目続投の兵庫県支部・岸徹地協会長が務め、実行委員長の岡達也大阪府支部長、副運営委員長の谷川聡ジャグラ理事（京都府）とともに、「文化典近畿大会 in 大阪」に向かって、近畿地協総出で、これまで培った絆と知恵とパワーを集結させます。全国のジャグリストの皆さん、どうぞご期待ください。そしてぜひご参加ください。

●大会概要

開催日：2021年6月5日（土）

定時総会、文化典、記念式典、懇親会

会場：ホテル日航大阪（大阪市中央区西心斎橋）

（文：近畿地協会長・岸徹）



上) 近畿地協 幹事会の様子 (左が岸地協会長)
 下) 懇親会での乾杯の瞬間

ジャグラ

2.14 SDGs セミナーを開催 宮城県支部

ジャグラ宮城県支部（熊谷晴樹支部長）は、去る2月14日、仙台市の仙台大気堂会議室において、SDGsセミナーを開催しました。

×

テーマは「SDGsの基礎知識～SDGsってなに？ どうすればいいの？～」で、講師は宮本誠ジャグラ理事・栃木県支部長（栴みやもと）。セミナー前半でSDGsの基本概念を図解説明してもらい、後半で宮本氏が自社でおこなっているCSR活動をSDGsにあてはめて、事例解説して頂きました。

教科書を読み解くような一般的なセミナーではなく、同業者の実践事例をサンプルとして解説するスタイルは、根拠・手法・効果などがリアルに感じられ、参加された経営者の皆さんより、腑に落ちると大好評でした！

セミナーにはジャグラ会員を始め、宮城県印刷工組会員や印刷関連業界の皆さんも数多く参加していただき、共に学ぶことが出来ました。ご多忙なか、渾身の力を込めて作成された資料を持参され、講師としてお話しいただいた宮本氏に、心から感謝申し上げます。

（文：宮城県支部・大橋邦弘）



上) 好評だった宮城県支部のSDGsセミナー
 下) 講師の宮本氏

PrintNext2020 秋田で開催

全国の若手印刷人500人が集結

テーマは「Find the Future ～人間力で世界価値を創造しよう!～」



SPACE-21

去る2月15日、PrintNext2020（東海林正豊運営委員長：株式会社東海林印刷/秋田）が秋田市文化会館＆秋田キャッスルホテルにて開催され、全国から500名超の青年印刷人が集結、有意義な一日を過ごしました（一般参加31名）。

×

秋田を題材にしたモノコト創出を競い合い!

このイベントはジャグラ青年部 SPACE-21 を含む、3つの印刷団体青年組織主催によるもので、2004年に開催されたPRINT4から数えて今回が9回目。第3回（2007年）の宮崎以来、久々の地方開催となりました。

当日は「Find the Future ～人間力で世界価値を創造しよう!～」をテーマに、お昼過ぎから協賛企業によるパートナーセッション、式典、経済産業省中小企業庁長官・前田泰宏氏による「0次産業革命」と題した基調講演が行われました。

メイン行事はブロック別対抗発表「プリネクアップ」。今年の課題は「舞台は秋田」。東北を除く8ブロックが、秋田をテーマにした新たなモノコト創出のアイデアを競い合いました。全国の青年印刷人が、夫々の地元ではない秋田の文化や産業を学び、今まで得てきたノウハウと様々な業界を融合させることで、新たなストーリーが生まれる——そのストーリーはイノベーションとなり、我々印刷産業を新たなステージへと導いてくれるとともに、日本全国そして世界中のどこでもビジネスとして展開できる事例が生まれるのではないか——という企画です。

各ブロックより発表された企画は下記の通りです。

- ①北海道ブロック「大人の修学旅行 ～あの素晴らしい旅をもう一度～」
- ②近畿ブロック「これからの地方のあり方 “関係人口”」

- ③関東甲信越静岡ブロック「秋田でワクワクを探しに行こう!」
- ④四国ブロック「四国で秋田をPRしよう ～秋田で四国のPRもしよう～」
- ⑤中国ブロック「秋田を飛び出せきりたんぽ! 秋田の郷土料理を全国へ」
- ⑥中部ブロック「独立国あきた」
- ⑦東京ブロック「週いち秋田 ～秋田への究極のお節介～」
- ⑧九州ブロック「秋田をバズらせたい! ～一番遠い九州より～」

以上の発表を5名の審査員で採点し、金銀銅および各部門賞が懇親会の席上、発表・表彰されました。金賞は中部ブロック、銀賞は東京ブロック、銅賞は中国ブロックでした。
※詳細は公式サイト <http://www.printnext.jp/> をご参照ください。

懇親会では団体の垣根を越えた交流が……

19時半より秋田キャッスルホテルに会場を移して懇親会を開催。勇壮な「なまはげ太鼓」によるオープニング演舞が披露されると大きな拍手と歓声が……。開会宣言・祝辞と続き、乾杯で開宴。全国の青年印刷人が垣根を越えた交流を行いました。懇親会後半では各団体のPRタイムが設けられ、我がSPACE-21は、「文化典高知大会」と「SPACE-21全国協議会鹿児島大会」のPRを行いました。

懇親会の締めでは、実行委員一同が壇上に上がり、東海林運営委員長の挨拶をもって、名残惜しくもお開きとなりました。

なお、SPACE-21は、翌16日に秋田県総合保健センターにて幹事会を開催し、20名が参加しました。

(文：本部事務局・今田豪)



大会を伝える大看板



秋田市文化会館



受付



オープニングムービー



協賛企業によるパートナーセッション



東海林運営委員長の挨拶



前田中小企業庁長官による基調講演



本村 SPACE-21 代表幹事の挨拶



審査員を務めた松原秋田県支部長



各ブロック長の皆さん



関東ブロックの発表



近畿ブロックの発表



九州ブロックの発表



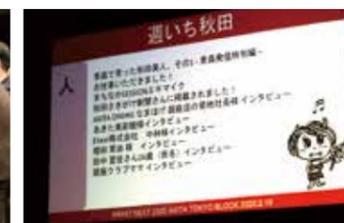
四国ブロックの発表



中国ブロックの発表



中部ブロックの発表



東京ブロックの発表



北海道ブロックの発表



懇親会会場



オープニング演舞のなまはげ太鼓



岡本副会長の挨拶



ジャグラ文化典高知大会をPR



SPACE-21 全国協議会をPR



実行委員会の皆さん

新 知 孔 温

懐かしき謄写印刷とその魅力

—— 今こそ先達の精神を学ぶとき



ジャグラー山形県支部長 (中央印刷株)
山形謄写印刷資料館 館長

後藤 卓也

続編

第 25 回 (最終回)

謄写技術資料館訪問と当館について

■はじめに

2016年1月より断続的に連載しました「温孔知新」はこの25回目をもって完結の運びとなりました。最後は、手前味噌で申し訳ありませんが、前回に引き続き「山形謄写印刷資料館」について述べさせていただければと思います。また併せて、滋賀県支部・サンライズ出版(株)の岩根順子さんとともに、今年1月23日、岐阜市・大東加工(株)にある「謄写技術資料館」を訪問しましたので、その感想も述べさせていただきます。

■岐阜市「謄写技術資料館」訪問

岐阜市に謄写印刷資料館があるらしいという事は前々から聞いていたのですが、たまたま1月22～23日に、山形県内同業者数名と光文堂さんの展示会見学のために名古屋に行く機会があり、初日は展示会見学、2

日目は観光でしたがそれを断り、岩根さんからの強いお誘いもあり、岐阜訪問となりました。岐阜駅までわざわざ岩根さんが迎えに来てくれて、一緒に大東加工を訪問しました。会社に着くと、神山公一社長と片桐真人取締役・神山社長の娘さんの川村晃子取締役から歓迎のお出迎えをいただき、早速資料館を見学させていただきました。資料館は私の煩雑資料館とは違い、広い展示スペースに謄写印刷機材・資料等が整然と並べられています。その中でも圧巻が謄写印刷原紙の製造機械で、以前、原紙を作っていた知人から譲っていただいたものだということです。

岐 岐阜県は四国と並び謄写原紙の主要生産地でした。これは美濃和紙生産地であった事が前提であり、大東加工は1937年創業し、主にタイプ原紙やリソグラフ用原紙を作って、最盛期には全世界数十か国に輸出していたそうです。現在はニチバン(株)と資本業務提携し、絆創膏の製造を主にしている会社です。神山社長から将来大きな規模の謄写印刷資料館を作り、数多くの謄写印刷資料を展示したいという意向のもと展示館の構想をお聞きしました。83歳の年齢を全く感じさせない情熱に圧倒される思いでした。展示館構想実現までの運営に対して協力を惜しまない事を約束し、資料館を後にしました。岐阜市は明智光秀が主人公である今年の大河ドラマの主要舞台となり、かなり盛り上がっています。大河ドラマ関連展示館に案内していただき、見学の後、中部国際空港へと向かったのです。

私の父、後藤義樹は岐阜県南濃町(現海津市)の生まれで、岐阜という特別な感情があります。山形と岐阜に謄写印刷資料館があり、その運営に関わるのも亡き父が結んでくれたご縁でしょうか。



上) 新藏品「東亜謄写版」(昭和初期)
下) 新藏品 堀井謄写堂明治期印刷機



上下2点) 山形謄写印刷資料館内部



上下2点) 山形謄写印刷資料館内の筆者

■「山形謄写印刷資料館」について

山 形謄写印刷資料館は1996年に設立しました。現在、所蔵点数1万2000点と公称していますが、正直いくつあるのか見当もつきません。資料を大別すると以下のようになります。

- ①明治30年から昭和50年くらいまでの印刷機や原紙・鉛筆等機資材
- ②草間京平・若山八十氏が制作した謄写印刷物
- ③小針美男・森田陸・金子良三・安恒春一寄贈作品群
- ④全国謄写印刷名人による作品(日本謄写藝術院会員・赤羽藤一郎・佐藤勝英作品を含む)
- ⑤俳優 佐藤慶制作作品・使用機材
- ⑥鈴木藤吉制作の山形県戦前チラシと日本謄写藝術院時代の作品
- ⑦大正末期から昭和30年代までの各種教則本
- ⑧堀井謄写堂・ハヤシ・昭和謄写堂等謄写印刷機材カタログ・パンフレット(明治末年～昭和30年代)と昭和堂月報
- ⑨四国原紙レポート・ホースヤスリレポート等レポート類
- ⑩戦艦陸奥艦内新聞等戦争関連謄写印刷物
- ⑪「サザエさん」をはじめとするテレビ台本(大部分は玉田武子制作)
- ⑫山形県内を中心とした学校・官公庁発行謄写印刷物
- ⑬地下本等特殊印刷物
- ⑭印刷業界関連諸資料、印刷組合記念誌等

昨 年、中央印刷(株)の旧社屋ビルを老朽化によって取り壊し、そこに置いていた謄写印刷関連機資材や、会社の古い見本等を謄写印刷資料館内部に置かなければならなくなったため、現在、資料館内部は雑然となっております。冬の間は業務繁忙期や寒い事もあり、暖かくなったら時間をかけて整理したいと考えております。

謄写印刷関連専門の資料館は、滋賀県蒲生町の伝承館と

先に紹介させていただいた岐阜市謄写技術資料館、そして当館の3つのみであり、東日本では当館が唯一の専門資料館となっております。ただ、常設とはいうものの資料館自体がプライベートなものであり、入場無料と全くのボランティア事業で専任事務局員を置くこともできないため、実際には、中央印刷(株)の休日以外の日を前もってご予約(中央印刷(株)後藤卓也、Tel.023-631-5533) いただいた方のみ公開しております。

謄写印刷資料収集はあくまでも後藤卓也個人によるものであり、あまりに収集にのめり込んでいる私に対して、亡き父が「会社の金は一円たりともコレクションに使うな」と何十回も言っていました。資料館の建物も父が個人で建てた建物で会社の金は一円も使っていません。これが収集の信念とっております。そのような事もあり私が不在の時には、資料館は閉まっています。また、公的援助等一切受けていないので、常に貧乏資料館です。福井良之助作品等欲しいものはいっぱいあるのですが、残念ながら手が届かないものもたくさんあります。

ここでいったん連載は終了させていただき、いずれの日にか、これまでの内容を読み返して間違いを改め、自費出版できればと考えております。その時にはジャグラー役員の皆様と各県支部に贈呈させていただきます。気長にお待ちください。研究者のアカデミックな論文と違い、思いつくまま書きなぐったものなので、今までの記事での思い違いや間違い等を、ご指摘いただけるとありがたいです。

今まで長い間お読みいただきありがとうございました。最初は毎月連載でしたので、正直つらかったです。原稿を出すとすぐに次の催促が来て、よく25回も話題が続いたものだと思っております。今後はトピック的な話題について掲載する機会をいただければと思っております。その時には宜しく願いいたします。(完)

上段左)
大東化工・神山社長と筆者
資料館入口で

上段右)
謄写技術資料館内部

下段左)
原紙加工機と神山社長

下段右)
左から神山社長、筆者、
岩根さん、川村さん



2月の事務局日誌

- 1日 四国地協理事会 (高知)
- 3日 プライバシーマーク現地審査 (愛知)
- 5日 page2020 開会式 (池袋サンシャインシティ)、ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会 (本部)、総務委員会 (本部)
- 6日 ジャグラ文化典後援申請 (経済産業省)
- 7日 M&A 部会 (本部)、ジャグラコンテスト専門委員会 (本部)
- 10日 日印産連「じゃぱにゅむ 2020」(日印産連会議室)
- 15日 PrintNEXT2020 → 沖専務 & SPACE-21 幹事会 (秋田市文化会館)
- 17日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 19日 栄典打合せ (経済産業省)
- 21日 広報部会 (本部)
- 26日 個人情報保護セミナー (本部) → 中止
- 28日 日印産連地球環境委員会 (日印産連会議室) → 沖専務、関地協新年懇親会及び幹事会 (上野・翠鳳) → 中止

3月のスケジュール (2.29 現在)

- 3日 4 団体懇親会 → 中止
- 6日 東グラ理事会 → 中止、日本プリンティングアカデミー評議員会 (JPA) → 吉岡理事 (書面開催)
- 11日 日印産連ステアリングコミティ (日印産連会議室) → 中止、日印産連専務理事連絡会議 (日印産連会議室) → 沖専務
- 12日 JAGAT 理事会 (JAGAT) → 欠席
- 17日 プライバシーマーク審査会
- 18日 ジャグラコンテスト部会 (本部) → ネット会議に変更、教育・技術委員会 (本部) → 中止、日印産連理事会 (日印産連会議室) → 書面理事会に変更
- 19日 拡大理事会 (本部) → 書面理事会に変更、ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会 (本部) → 中止、総務委員会 (リファレンス大阪駅前第4ビル貸会議室)
- 24日 広報部会 (本部)

4月のスケジュール (2.29 現在)

- 1日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 6日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 7日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)、ジャグラコンテスト専門委員会 (本部)
- 10日 作品展第一次・二次審査委員会 (本部)
- 13日 プライバシーマーク現地審査 (福島)
- 14日 プライバシーマーク現地審査 (福島)
- 17日 作品展最終審査委員会 (本部)
- 23日 定期監査 (本部)
- 24日 拡大理事会 (本部)、拡大理事会・懇親会 (未定)
- 25日 SPACE-21 幹事会 & 総会 (リコージャパン(株)名古屋事業所)

事・務・局・便・り

新型コロナウイルスの影響で、3月2日より小中高校が一斉休校となりました。ジャグラ本部事務局には、小学生以下の子供がいるスタッフがいて、子供の預け先が確保できないこともあり、急遽テレワークを導入することになりました。テレワークは今回のような感染症や災害などの際に効果を発揮します。製造業である印刷業においては、なかなか導入は難しい部分もありますが、社内の会議であればネット会議などが可能です。ジャグラのテレワークの取り組みについては、機会を見つけて本誌を通じてご紹介する予定です。(K.N)

編・集・後・記

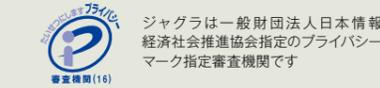
山形謄写印刷資料館の後藤館長(ジャグラ山形県支部長)による本誌連載「温孔知新」が、今号をもって完結しました。最初、1年というお約束でお願いした企画でしたが、結果はご承知のとおり、途中休載も含めて足掛け5年の長きにわたる好評連載となりました。誌面が埋まらないとき、「原稿お願いできませんか?」と急なお願いをしたことが幾度もありましたが(笑)、断られることなく毎回読み応えのある原稿を頂戴し、感謝の言葉しかありません。この場をお借りしまして御礼申し上げます。(Y.F)

GS

月刊
グラフィックサービス
No.820
2020
03

月刊『グラフィックサービス』820号

- 発行日 令和2年3月10日 (毎月1回)
- 発行人 中村 耀
- 編集人 早坂 淳
- 発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB https://www.jagra.or.jp/



■ 編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎ 原稿 / 編集 / 校正

- 沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
- 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
- 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
- 斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
- 藤尾 泰一 (南インフォ・ディー / 広報委員)
- 日経印刷(株) (校正のみ)

◎ 渉外 守田 輝夫

◎ 広告 酒井 玲子

◎ Web 阿部奈津子

◎ 組版 / デザイン (南インフォ・ディー)

- 組版 = Adobe CS6/CC ほか
- フォント = モリサワ OTF ほか

◎ 製版 / 印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

- RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 - CTP = 富士フィルム XP-1310R
 - 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 - 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 - インキ = DIC
 - 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
- ※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2020 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。また、原則 TM・®マークは省略しています。※乱丁 / 落丁本はお取り替えます。

ジャグラBB HOT NEWS



今月のおすすめ番組

最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



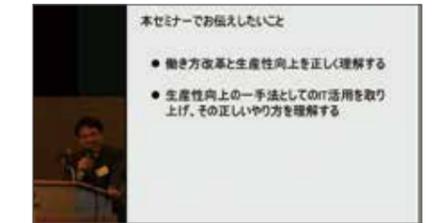
せんとくん通信『鹿と人との共生を目指す取り組み』(奈良県支部 株新踏社)

2019年9月4日奈良テレビにて放映された「せんとくん通信」で新踏社(ジャグラ奈良県支部)の取り組みが取り上げられました。その模様をジャグラBBにて配信中です。【配信許諾済】
時間:9分40秒 無料番組



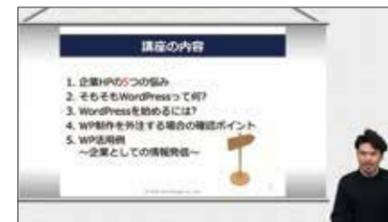
生産性向上は働き方改革であり経営改善である 講師:稲満信祐氏

2019年11月開催ジャグラ全国協議会セミナー。イナミツ印刷・稲満信祐氏を講師に迎え、それまで赤字体質だった自社を社長就任後にV字回復させるまでの取り組みについてお話いただきました。
時間:42分52秒 会員限定番組



生産性向上のための『気づき』と『工夫』 講師:中高英明氏

2019年11月開催ジャグラ全国協議会セミナー。中小企業診断士・中高英明氏を講師に迎え、働き方改革と生産性向上を実現するために企業が取り組むべき事柄についてお話いただきました。
時間:1時間29分 会員限定番組



WordPress初級講座 『ワードプレスって何ができるのだろう?』

誰でも無料で利用できる人気のウェブ作成ツール「WordPress」。本番組では、WordPress初心者の方の方向けに、WordPressとは何か、どんなことができるかをわかりやすく解説します。
時間:59分10秒 会員限定番組



知って差がつく! プロフェッショナル・エキスパートのためのWordの極意!!

Word講座「Word組版の基本と極意」の続編。前回お伝えしきれなかったWordの組版機能について、InDesignとの対比も交え、詳細を解説していきます。
時間:1時間27分 会員限定番組



MS-Officeデータハンドリングの極意

本番組では、お客様から入稿されたWord, Excel, PowerPointなどのMS-Officeデータのハンドリングについて、プロとして押さえておくべき知識と技術を学びます。
時間:1時間27分 会員限定番組

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp



スマホで簡単登録&視聴! ジャグラBB 新規ID登録はこちらから
https://www.jagrabb.net/app_mail.php



Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

品質検査

濃度追従

見当調整

— ^み 視て、判断して、制御する —

PQS-Dがあなたの眼になる。

損紙を減らすことが求められる刷り出しの見当調整。
本刷り中の印刷障害や濃度変化に気を遣い、印刷物と
ずっとにらめっこ。神経をすり減らし、息つく暇がない
のが今の印刷現場です。

RMGTの印刷品質管理システム PQS-D は印刷機上の
CCD カメラがあなたの眼となり、刷り出しから刷り
終わりまで、絶え間なく印刷物を監視しつづけます。
品質検査はもちろん、濃度追従や自動見当調整の機能
が、オペレーター^{たす}を援けます。



印刷機上の CCD カメラが印刷中の用紙を監視

RMGT ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鶉飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>